

# 事例報告

リポジトリはどのように  
使われているか

— リポジトリの本音 —

2010年度CSI委託事業

XooNIps研究会ワークショップ

2010.11.05 at熊本学園大学

慶應義塾大学メディアセンター本部

五十嵐 健一

# 目次

- 機関リポジトリとは
  - 海外
  - 国内
    - CSI委託事業
- 機関リポジトリの使われ方とは
  - 何が入っている
  - 使われ方
- 慶應（KOARA）での取組みと  
XooNIps Libraryモジュール

そもそも機関リポジトリとは  
(IR : Institutional Repository)

# 海外での動き

- シリアルズクライシス  
電子ジャーナルの価格高騰
- オープンアクセス運動
- 義務化の動き
  - 2007年  
NIH（アメリカ国立衛生研究所）パブリックアクセス方針に関する法案
  - 2008年  
サウサンプトン大学(英)で全学部の研究成果のセルフアーカイブ義務化（mandate）

# 国内では

- 2004年 6大学で機関リポジトリ構築実証実験 IRP  
北海道大学 千葉大学 東京大学 東京学芸大学 名古屋大学  
九州大学
- 2005年 13大学を追加してさらなる普及活動・実証実験
- 2006年～ 国立情報学研究所CSI委託事業
  - 2006年度 2007年度 第一期
    - 領域1 リポジトリ構築 57大学
    - 領域2 プロジェクト単位の取組
  - 2008年度 2009年度 第二期
    - 領域1 リポジトリ構築 68大学
    - 領域2 プロジェクト単位の取組
  - 2010年度から 第三期
    - 領域1 リポジトリ構築 24機関
    - 領域2 プロジェクト単位の取組 (開発支援等)
    - 領域3 プロジェクト単位の取組 (普及活動等)

2010年10月31日時点で  
機関リポジトリ数 132



デモ：格納されているコンテンツ

JAIRO (NII)

<http://jairo.nii.ac.jp/>



# 使われ方として

- 広く学内の成果物を公開
- システム間連携  
例えば、IR → IRDB : JAIRO → CiNii  
(OAI-PMH : メタデータ交換)
- ILLでの利用の増加
- 電子資料の新しい流れ
  - 科研費報告書の電子提出
  - NDLの学位論文電子化事業
- 新聞社のアンケート、各種ランキング

# 慶應での取組み

# XooNips Libraryモジュールの 開発と公開

デモ

KOARA

<http://koara.lib.keio.ac.jp/>

# コンテンツ利用例（外部からのLink）

- はてなブックマーク

<http://b.hatena.ne.jp/suu-g/20100705>

- ブログから

<http://socio-logic.jp/>

- Wikipediaから

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%80%E3%83%B3%E3%83%89%E3%82%AF>

# 質疑

ご静聴ありがとうございました